

II 感染症発生動向調査結果

1 全数把握の対象

平成28年の全数届出状況は、下記のとおりであった。

(1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

(2) 二類感染症

結核：153名の届出があり、診断は患者107名、無症状病原体保有者46名であった。性別は男性77名、女性76名で、年齢階級別内訳は表のとおりである。

届出のあった結核の年齢階級別類型

診断	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
患者	0	0	2	5	2	8	15	16	36	23	107
無症状*	2	1	3	7	7	8	15	2	1	0	46
計	2	1	5	12	9	16	30	18	37	23	153

* 無症状病原体保有者

結核以外の二類感染症の届出はなかった。

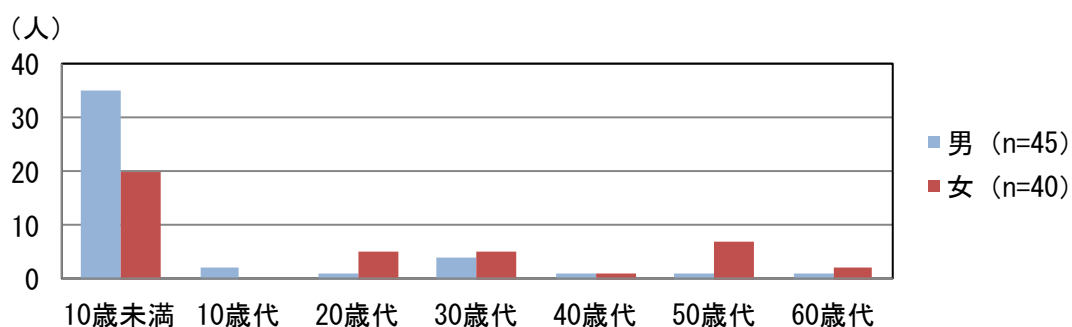
(3) 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症：85名（重複感染1名があったため述べ検出件数は86名）の届出があり、診断は患者32名、無症状病原体保有者53名であった。性別は男性45名、女性40名で、年齢階級別では10歳未満55名、10歳代2名、20歳代6名、30歳代9名、40歳代2名、50歳代8名、60歳代3名であった。血清型・毒素型ではO157VT2が55件で最多であった。また、集団発生は、2事例（O157 1事例、O26 1事例）であった。症状内訳は水様性下痢20名、腹痛16名、血便9名、その他9名、発熱4名であった。溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群（HUS）等の症状の者はいなかった。

腸チフス：2名の届出があり、診断は患者1名、無症状病原体保有者1名であった。性別は男性1名、女性1名で、年齢階級別では10歳代1名、50歳代1名で、推定感染地域は国内であった。

腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス以外の三類感染症の届出はなかった。

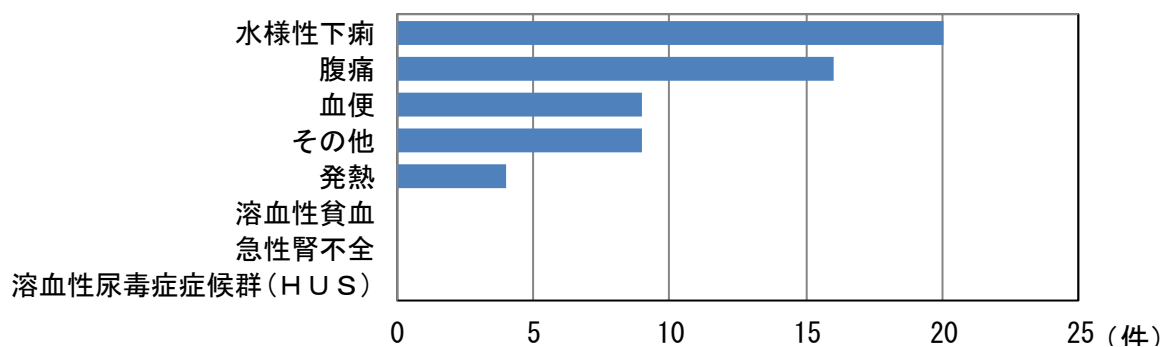
腸管出血性大腸菌感染症 性別・年齢別届出件数



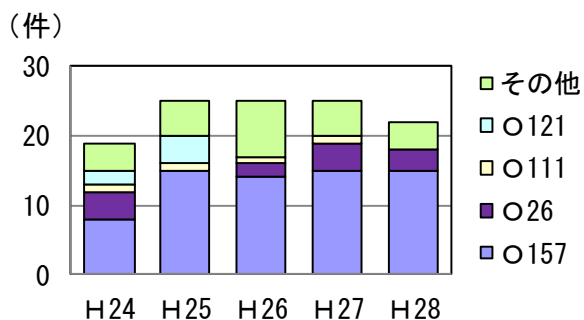
腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数

血清型	毒素型	届出数
05	VT1	1
026	VT1	13
0103	VT1	2
0115	VT1	2
0157	VT1	1
0157	VT2	55
0157	VT1, VT2	12
計		86

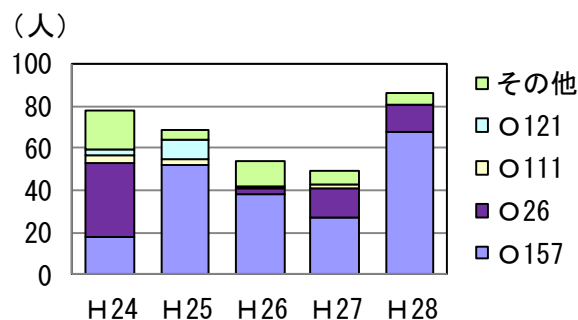
腸管出血性大腸菌感染症 症状内訳 (n=85)



腸管出血性大腸菌感染症 血清型別年別発生件数



腸管出血性大腸菌感染症 血清型別年別感染者数



(4) 四類感染症

A型肝炎：1名の届出があった。性別は男性、推定感染経路は経口感染で、推定感染地域は国内であった。

つつが虫病：9名の届出があった。性別は男性7名、女性2名で、推定感染地域はいずれも国内であった。

日本紅斑熱：8名の届出があった。性別は男性2名、女性6名で、推定感染地域はいずれも国内であった。

マラリア：1名の届出があった。性別は男性、感染地域はアフガニスタンであった。

レジオネラ：3名の届出があった。性別は男性3名、推定感染地域は国内であり、病型はいずれも肺炎型であった。

届出のあった四類感染症

疾病名	人数	診断週	年齢・性別・(病型)	管轄保健所	感染地域(確定・推定)
A型肝炎	1名	7週	20歳代男性	佐賀中部	国内(推定)
つつが虫病	9名	35週	70歳代男性	佐賀中部	国内(確定)
		44週	80歳代女性	佐賀中部	国内(推定)
		44週	80歳代男性	佐賀中部	国内(確定)
		45週	60歳代女性	唐津	国内(確定)
		45週	60歳代男性	佐賀中部	国内(推定)
		45週	60歳代男性	杵藤	国内(確定)
		46週	70歳代男性	佐賀中部	国内(確定)
		46週	70歳代男性	佐賀中部	国内(推定)
		50週	30歳代男性	佐賀中部	国内(推定)
日本紅斑熱	8名	21週	70歳代女性	唐津	国内(確定)
		35週	70歳代女性	佐賀中部	国内(確定)
		36週	70歳代女性	佐賀中部	国内(確定)
		36週	60歳代男性	佐賀中部	国内(確定)
		38週	70歳代女性	佐賀中部	国内(推定)
		39週	70歳代女性	佐賀中部	国内(推定)
		39週	70歳代男性	佐賀中部	国内(推定)
		42週	70歳代女性	佐賀中部	国内(推定)
マラリア	1名	38週	10歳代男性	佐賀中部	国外(確定:アフガニスタン)
レジオネラ症	3名	27週	50歳代男性(肺炎型)	唐津	国内(推定)
		38週	60歳代男性(肺炎型)	杵藤	国内(推定)
		51週	60歳代男性(肺炎型)	唐津	国内(推定)

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢：7名の届出があった。性別は男性6名、女性1名で、病型はいずれも腸管アメーバ症であった。推定感染経路は、経口感染4名、不明3名であった。

ウイルス性肝炎：1名の届出があった。性別は男性、病型はB型、感染原因・感染経路は不明であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：15名の届出があった。性別は男性8名、女性7名で、感染地域はいずれも国内であった。分離された菌種は *Enterobacter cloacae* 8件、*Enterobacter aerogenes* 4件、*Serratia marcescens* 2件、*Citrobacter freundii* 1件であった。

急性脳炎：4名の届出があった。性別は男児2名、女児2名で、病原体はインフルエンザウイルスA 3件、不明1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病：1名の届出があった。性別は男性で、病型は孤発性プリオン病・古典型(CJD)であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症：5名の届出があった。性別は男性4名、女性1名で、血清型はA群3名、G群2名であった。感染経路は創傷感染2名、接触感染1名、飛沫・飛沫核感染1名、不明1名であった。

後天性免疫不全症候群：9名の届出があった。性別は男性8名、女性1名で、内訳はAIDS 6名、無症候性キャリア3名であった。推定感染経路は同性間性的接触5名、異性間性的接触3名、不明1名で、感染地域は国内8名、不明1名であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症：1名の乳児女児の届出があった。推定感染原因・感染経路は飛沫・飛沫核感染、感染地域は国内であった。

侵襲性肺炎球菌感染症：14名の届出があった。性別は男性10名、女性4名であった。年齢階級別では10歳未満3名、40歳代2名、50歳代2名、60歳代5名、70歳代2名であった。ワクチン接種歴は4回接種2名、3回接種1名、1回接種1名、なし8名、不明2名であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染4名、副鼻腔炎1名、保菌疑い1名、不明8名であった。

水痘(入院例)：5名の届出があった。性別は男性3名、女性2名で、年齢階級別では10歳代2名、20歳代3名であった。推定感染原因・経路は空気感染1名、接触感染1名、不明3名であった。

梅毒：15名の届出があった。性別は男性10名、女性5名であった。内訳は早期顕症梅毒7名、晩期顕症梅毒1名、先天梅毒1名、無症候6名であった。年齢階級別では10歳未満1名、20歳代3名、30歳代2名、40歳代4名、50歳代3名、70歳代1名、80歳代1名であった。感染経路は異性間性的接触10名、性的接触1名、母子感染1名、不明3名であった。感染地域はいずれも国内であった。

届出のあった五類感染症

疾病名	人数	診断週	年齢・性別・診断した者の類型	感染原因・感染経路 (確定・推定)	感染地域 (確定・推定)
アメーバ赤痢	7名	27週	60歳代男性患者	不明	国内(推定)
		30週	60歳代男性患者	経口感染(推定)	国内(推定)
		30週	50歳代男性患者	経口感染(推定)	国外(推定:タイ、バンコク)
		40週	30歳代女性患者	不明	国内(推定)
		41週	40歳代男性患者	経口感染(推定)	国内(推定)
		50週	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		51週	60歳代男性患者	経口感染(推定)	国外(推定:タイ、ベトナム)
ウイルス性肝炎	1名	13週	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	15名	1週	90歳代男性患者	不明	国内(推定)
		5週	50歳代男性患者	不明	国内(確定)
		7週	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		10週	80歳代男性患者	不明	国内(推定)
		13週	80歳代男性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
		25週	小学生低学年男児患者	不明	国内(推定)
		28週	80歳代女性患者	不明	国内(推定)
		29週	70歳代女性患者	不明	国内(推定)
		31週	80歳代女性患者	医療器具関連感染(推定)	国内(確定)
		37週	80歳代女性患者	不明	国内(推定)
		39週	70歳代男性患者	不明	国内(推定)
		39週	80歳代男性患者	不明	国内(推定)
		43週	70歳代女性患者	不明	国内(確定)
		50週	60歳代女性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
52週	60歳代女性患者	手術部位感染(推定)	国内(推定)		
急性脳炎	4名	5週	10歳代男児患者	インフルエンザウイルスA 飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		6週	幼児女児患者	インフルエンザウイルスA 飛沫・飛沫核感染(確定)	国内(推定)
		7週	小学生低学年男児患者	インフルエンザウイルスA 飛沫・飛沫核感染(確定)	国内(推定)
		20週	10歳代女児患者	不明	国内(推定)

疾病名	人数	診断週	年齢・性別・診断した者の類型	感染原因・感染経路 (確定・推定)	感染地域 (確定・推定)
クロイツフェルト・ヤコブ病	1名	3週	60歳代男性患者		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5名	10週	80歳代男性患者	創傷感染(確定)	国内(確定)
		14週	10歳代女性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		20週	70歳代男性患者	創傷感染(推定)	国内(推定)
		35週	60歳代男性患者	不明	国内(確定)
		52週	70歳代男性患者	接触感染(推定)	国内(確定)
後天性免疫不全症候群	9名	14週	20歳代男性無症状*	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		19週	50歳代男性患者	不明	不明
		20週	50歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		29週	40歳代男性無症状*	同性間性的接触(推定)	国内(確定)
		29週	60歳代男性患者	同性間性的接触(推定)	国内(確定)
		32週	70歳代男性患者	同性間性的接触(推定)	国内(確定)
		34週	50歳代男性患者	同性間性的接触(推定)	国内(確定)
		39週	80歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		40週	40歳代男性無症状*	同性間性的接触(推定)	国内(確定)
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1名	32週	乳児女児患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
侵襲性肺炎球菌感染症	14名	7週	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		10週	60歳代女性患者	副鼻腔炎	国内(確定)
		13週	50歳代女性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		19週	70歳代男性患者	不明	国内(確定)
		21週	幼児男児患者	不明	国内(推定)
		26週	幼児男児患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
		27週	40歳代男性患者	不明	国内(推定)
		31週	70歳代女性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		32週	60歳代男性患者	不明	国内(確定)
		47週	60歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		47週	60歳代男性患者	不明	国内(推定)
		48週	幼児男児患者	不明	国内(推定)
		51週	40歳代男性患者	保菌疑い	国内(推定)
		52週	60歳代女性患者	不明	国内(確定)

*無症状病原体保有者

疾病名	人数	診断週	年齢・性別・診断した者の類型	感染原因・感染経路(確定・推定)	感染地域(確定・推定)
水痘 (入院例)	5名	19週	10歳代男性患者	不明	国内(推定)
		20週	20歳代男性患者	不明	国内(推定)
		20週	20歳代女性患者	空気感染(推定)	国内(推定)
		21週	20歳代女性患者	接触感染(推定)	国内(推定)
		37週	10歳代男性患者	不明	国内(推定)
梅毒	15名	9週	70歳代男性無症状*	不明	国内(推定)
		12週	20歳代女性無症状*	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		12週	新生児患者	母子感染(確定)	国内(推定)
		15週	40歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		22週	30歳代男性無症状*	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		27週	20歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(推定)
		27週	50歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		28週	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		29週	50歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		30週	40歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(推定)
		30週	80歳代男性無症状*	性的接触(推定)	国内(推定)
		30週	30歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		38週	40歳代男性無症状*	不明	国内(推定)
		42週	40歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
48週	20歳代女性無症状*	異性間性的接触(推定)	国内(確定)		

*無症状病原体保有者

一～五類感染症 週別患者報告数 1

週	期間	一類							二類							三類			
		1 エボラ出血熱	2 クリミア・コンゴ出血熱	3 痘そう	4 南米出血熱	5 ペスト	6 マールブルグ病	7 ツツサ熱	8 急性灰白髄炎	9 結核	10 シフテリア	11 重症急性呼吸器症候群	12 中東呼吸器症候群	13 鳥インフルエンザ (H5N1)	14 鳥インフルエンザ (H7N9)	15 コレラ	16 細菌性赤痢	17 腸管出血性大腸菌感染症	18 腸チフス
1	01/04~01/10								4										
2	01/11~01/17																		
3	01/18~01/24								1										
4	01/25~01/31								4										
5	02/01~02/07																		
6	02/08~02/14								3										
7	02/15~02/21								1										
8	02/22~02/28								4										
9	02/29~03/06								1										
10	03/07~03/13								1										
11	03/14~03/20								4										
12	03/21~03/27								6										
13	03/28~04/03								5										
14	04/04~04/10								2										
15	04/11~04/17								2										
16	04/18~04/24								8										
17	04/25~05/01								2										
18	05/02~05/08																		
19	05/09~05/15								8										
20	05/16~05/22								2							1			
21	05/23~05/29								3										
22	05/30~06/05								2										
23	06/06~06/12								5										
24	06/13~06/19								5								7		
25	06/20~06/26								3								3		
26	06/27~07/03								7								3		
27	07/04~07/10								2								3		
28	07/11~07/17								3								2		
29	07/18~07/24								4										
30	07/25~07/31								1										
31	08/01~08/07								1								1		
32	08/08~08/14								5								37		
33	08/15~08/21								4								12		
34	08/22~08/28								4								3		
35	08/29~09/04								4								3		
36	09/05~09/11																		
37	09/12~09/18								5								1		
38	09/19~09/25								1										
39	09/26~10/02								3								1	1	
40	10/03~10/09								4								3	1	
41	10/10~10/16								6										
42	10/17~10/23								3								1		
43	10/24~10/30								3										
44	10/31~11/06								4								2		
45	11/07~11/13								2										
46	11/14~11/20																		
47	11/21~11/27																1		
48	11/28~12/04								2										
49	12/05~12/11								4								1		
50	12/12~12/18								2										
51	12/19~12/25								2										
52	12/26~01/01								1										
	合計								153								85	2	
	全国累計								23,854						10	121	3,641	52	19

(1)重症急性呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。
(2)中東呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

